

公益社団法人日本補綴歯科学会
平成 29 年度 7-3 月期および平成 30 年度 4-6 月期委員会活動報告
(平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 15 日)

I.	はじめに	(理事長：市川 哲雄)
II.	学術委員会	(委員長：馬場 一美)
III.	編集委員会	(委員長：大久保力廣)
IV.	財務委員会	(委員長：水口 俊介)
V.	広報委員会	(委員長：越野 寿)
VI.	医療問題検討委員会	(委員長：田中 昌博)
VII.	診療ガイドライン委員会	(委員長：小野 高裕)
VIII.	教育問題検討委員会	(委員長：澤瀬 隆)
IX.	専門医制度委員会	(委員長：河相 安彦)
X.	専門医認定委員会	(委員長：高橋 裕)
XI.	社会連携委員会	(委員長：山口 泰彦)
XII.	国際渉外委員会	(委員長：細川 隆司)
XIII.	規程検討委員会	(委員長：武部 純)
XIV.	用語検討委員会	(委員長：西村 正宏)
XV.	研究企画推進委員会	(委員長：窪木 拓男)
XVI.	特命委員会 1	(委員長：津賀 一弘)
XVII.	特命委員会 2	(委員長：服部 佳功)
XVIII.	JPR 編集委員会	(委員長：松村 英雄)
XIX.	倫理審査委員会	(委員長：鱒見 進一)
XX.	利益相反委員会	(委員長：小宮山彌太郎)
XXI.	優秀論文賞推薦委員会	(委員長：大川 周治)
XXII.	学会賞推薦委員会	(委員長：志賀 博)

I. はじめに

公益社団法人日本補綴歯科学会 理事長 市川哲雄

公益社団法人日本補綴歯科学会の平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 15 日までの委員会活動を報告いたします。今期は「歯科の基盤を支え、創る補綴の矜持」を掲げ、伝統ある日本補綴歯科学会の長年の活動を汚さないように、そして将来に向かって挑戦と進化をすることを念頭に事業を遂行してまいりました。一方、歯科を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、かつ当法人の会員状況も財務状況も少し厳しい状況にあります。今期は、補綴歯科の価値を高め、会員の学術活動、臨床活動の支援がより充実できるように学会の基盤固めにウエイトをおいてきました。引き続き会員各位からのご支援とご協力をお願い申し上げます。

II. 学術委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：馬場一美

副委員長：江草 宏

委員：疋田一洋, 馬場俊輔, 鮎川保則, 上田貴之,
 笛木賢治, 榎原絵理, 峯 篤史,
 横山紗和子

幹事：高場雅之

2. 活動状況

学術委員会を 6 回、プログラム委員会を 2 回開催し、以下の活動を行った。

- 1) 第 3 回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ'17」開催について
シンポジウム 1：クラウンブリッジにおけるデジ

タルデンティストリーの活用

シンポジウム 2: インプラント治療におけるデジタルデンティストリーの活用

2) 第 127 回学術大会企画準備について

- (1) 会期：平成 30 年（2018 年）6 月 15 日（金）～6 月 17 日（日）
- (2) 会場：岡山コンベンションセンター，ホテルグランヴィア岡山
- (3) 主管校：岡山大学
- (4) 大会長：皆木省吾，準備委員長：原 哲也
- (5) 総演題数：213 演題
(課題口演:9 演題，一般口演:51 演題，ポスター:145 演題，専門医ケースプレゼンテーション:8 演題)
- (6) 学術企画
 - 特別講演：医療と融合するウェアラブルエレクトロニクスの現在と未来
 - 海外特別講演：Implications and considerations for prosthodontic therapy in the aging population
 - The Pacific Coast Society for Prosthodontics (PCSP) 国際シンポジウム：Art and Science from The Pacific Coast Society of Prosthodontics
 - シンポジウム
 - 1：超高齢社会で求められる補綴歯科治療
 - 2：睡眠時無呼吸症とは？—知っておくべき基本的知識と歯科医師の果たす役割について—
 - 3：歯科用 CAD/CAM テクノロジーの最前線
 - 4：補綴治療に求められる骨質を科学する
 - 5：接着技術を活用した補綴歯科治療の最前線と未来への展望
 - 6：集学的観点からインプラント治療を考える
 - 臨床リレーセッション
 - 1：インプラント治療における Digital Dentistry の現状と今後
 - 2：有床義歯の臨床を深める —軟質リラインとノンメタルクラスプデンチャー，短縮歯列への補綴介入の decision-making —
 - 臨床スキルアップセミナー：インプラント補綴を成功に導くための要件
 - 研究教育セミナー：質の高い臨床研究を目指して
 - 歯科医療安全対策推進セッション：補綴診療で知っておくべき院内感染対策
 - 専門医研修会：S (E) OAP で解決する有床義歯の問題

- 委員会セミナー 1（国際渉外委員会）：海外留学支援セミナー—どうすれば海外の大学，研究機関で仕事ができるか—
- 委員会セミナー 2（ガイドライン委員会）：診療ガイドラインを補綴臨床に活かす
- 委員会セミナー 3（研究企画推進委員会，第二特命委員会，学術委員会）：地域包括ケアシステムにおける医療，介護，生活支援連携のあり方—歯科関連専門職の役割と課題—
- 日中韓セミナー：CPS-JPS-KAP 国際セッション—アジアの補綴歯科治療の最前線—
- 市民フォーラム：お口の機能の有名研究者が，やさしく解説—どうすれば健康に食べて，肺炎にならない？ お口と体の健康法—
- イブニングセッション
 - 1：Adhesive Prosthodontics の新たな展開～ジルコニアオールセラミック接着ブリッジの可能性を探る～
 - 2：インプラント周囲軟組織は今どこまで明らかにされているか？
 - 3：CAD/CAM パーシャルデンチャー—フルデジタルワークフロー創出への展望—
 - 4：昼夜のブラキシズムをコントロールする
 - 5：超高齢社会に求められる新たなインプラントトラブルシューティング
- ハンズオンセミナー
 - 1：口腔内スキャナーの実践
 - 2：咀嚼機能検査の活用
 - 3：軟質材料を用いた義歯のリライン
 - 4：ファイバーポストコアをマスターする
- (7) 大会期間中に課題口演賞 9 演題ならびにポスター発表 145 演題の審査・集計課題口演優秀賞 3 演題，優秀ポスター賞（デンツプライシロナ：6 演題，カボデンタル賞：2 演題）の選考
- (8) プログラム・企画演題抄録・一般演題・ポスター抄録
プログラム・企画演題抄録集の印刷
一般演題・ポスター抄録集ホームページへのアップロード（学会員ダウンロード用）
- (9) スマートフォンを用いたリアルタイムアンケート（Google フォーム）の運用

III. 編集委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：大久保力廣

副委員長：藤澤政紀

委員：石垣尚一，羽鳥弘毅，福西美弥，正木千尋，
谷田部 優，金澤 学，二川浩樹，
松村英雄

幹事：佐藤洋平

2. 活動状況

委員会活動 編集委員会を3回（平成29年7月26日（水），平成29年10月2日（月），平成30年5月17日（木）），その他の編集作業や審議を適宜メール上で行った。

1) 9巻3号（2017.7.10発行）

依頼論文：17編，原著論文：1編，専門医症例報告：6編+前付・後付，広告 合計 129頁 発行部数6,896部

2) 9巻4号（2017.10.10発行）

依頼論文：15編，原著論文：3編，専門医症例報告：6編+前付・後付，広告 合計 151頁 発行部数6,750部

3) 10巻1号（2018.1.10発行）

依頼論文：8編，専門医症例報告：8編+前付・後付，広告 合計 129頁 発行部数6,700部

4) 10巻2号（2018.4.10発行）

依頼論文：9編，専門医症例報告：6編+前付・後付，広告 合計 102頁 発行部数6,330部

5) 平成29年4月から平成30年5月末時点の投稿論文数は，原著3編，技術紹介1編であり，受理3編，査読中3編，返却1編である。

6) 誌面構成の刷新

巻頭言（理事を中心に執筆を担当していただく）

From Editor（編集委員が誌面構成を解説）

表紙デザインの変更（毎号掲載論文からの写真を選出し表紙にレイアウトする）

7) 新企画

・座談会

((公社)日本補綴歯科学会のこれまでの10年間を振り返り補綴のアイデンティティーと将来像を語る)

・エビデンス and オピニオン(レジェンドにリレー形式で執筆していただく)

・わかりやすい再生医療の話シリーズ

・誌上ディスカッション

・英語依頼論文の掲載（編集委員による和訳要旨付）

IV. 財務委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：水口俊介

副委員長：山下秀一郎

委員：坂口 究

幹事：猪越正直

2. 活動状況

- 1) 学術大会および各支部会計報告を基にした収支計算書の作成（1か月に1回）
- 2) 第14期決算報告書（自：平成29年4月1日，至：平成30年3月31日）の作成と検討
- 3) 第126回学術大会決算案の検討および承認
- 4) 第127回学術大会予算案の検討および承認
- 5) 平成30年度事業計画を基にした予算概要の審議
- 6) 平成30年度収支予算案の作成
- 7) 平成30年度資金調達及び設備投資の見込みに関する審議
- 8) プロソ'17収支決算案の検討および承認
- 9) 計6回の財務委員会（内2回はメール会議）
- 10) 公印の管理
- 11) 各支部および委員会等からの問い合わせへの回答
- 12) 事業計画・予算概要の支部用書式統一に関する審議

V. 広報委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：越野 寿

副委員長：都尾元宣

委員：菊池雅彦，猪子芳美，岡本和彦，月村直樹，
重田優子，中村隆志，田地 豪，松浦尚志

幹事：豊下祥史

2. 活動状況

1) 広報委員会の開催

平成29年7月3日に第1回広報委員会（メール会議）を開催した。

平成29年9月11日に第2回広報委員会を開催した。

平成30年2月5日に第3回広報委員会を開催した。

2) メールマガジンの発行

平成 29 年 7 月 14 日から平成 30 年 3 月 30 日までの間に JPS メールマガジン No.95～No.130 を毎週金曜日に発行，平成 30 年 4 月 6 日からは隔週金曜日に発行日を変更し，6 月 15 日までに No.131～No.136 を発行した。

3) 学会ホームページの改訂，更新

平成 29 年 7 月 1 日から平成 30 年 5 月 31 日までに 115 件の更新を行った。

4) ニュースレター (Letter for Members) 発行

Letter for Members は日本補綴歯科学会誌とは別の刊行物であるにもかかわらず，通巻ページとなっているため，「印刷物の発行の在り方の検討」の一環として，日本補綴歯科学会誌に綴じ込むことを取りやめ，平成 28 年 4 月より，電子版 (PDF) のみ発行し，HP に掲載することとし，年 2 回の発行となっている。

平成 29 年 7 月 1 日から平成 30 年 6 月 15 日までに，合計 2 号を発行した。

掲載内容は下記のとおりであった。

(1) 平成 29 年 10 月号 (No.61)

- ・第 126 回学術大会
 - 第 126 回学術大会
 - 平成 29 年度専門医研修単位認定セミナー
 - 市民フォーラム
- ・受賞者の声
 - 平成 28 年度学会優秀論文賞
 - 第 126 回学術大会優秀賞

(2) 平成 30 年 4 月号 (No.62)

- ・支部学術大会報告
 - 東北・北海道支部学術大会
 - 関越支部学術大会
 - 東関東支部学術大会
 - 東京支部学術大会
 - 西関東支部学術大会
 - 東海支部学術大会
 - 関西支部学術大会
 - 中国・四国支部学術大会
 - 九州支部学術大会
- ・Pacific Coast Society for Prosthodontics 82nd Annual Meeting 報告
- ・17th Biennial Meeting of the International College of Prosthodontists 開催報告
- ・2017 Biennial Joint Congress of CPS-JPS-KAP 開催・参加報告
- ・第 3 回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ '17」開催

報告

5) アップローダーの設置

メールマガジンによる情報提供は，プログラムの仕様からテキスト形式の文字情報のみとなっており，画像ファイルや PDF ファイルの情報をメールマガジンに掲載する手段がなかった。そこで，画像情報等を PDF 化し，サーバにアップロードし，そのアドレス情報をメールマガジンに掲載する仕組みを導入することで，提供できる媒体や情報量が飛躍的に増加した。平成 29 年 10 月 8 日より設置，運用を開始している。

6) HP リニューアルの検討

英文ホームページの実用化，各支部 HP と本会 HP の表示内容の整理，広く国民へ向けた「補綴治療」の啓発ページの追加・更新等について分析，情報収集を行い，より利用しやすい HP の在り方について検討を行った。

VI. 医療問題検討委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：田中昌博

副委員長：五味治徳

委員：近藤尚知，佐藤裕二，鈴木哲也，竹内義真，
田上直美，南 弘之

幹事：田中順子

2. 活動状況

委員会は 3 回開催し，必要に応じて適宜メール会議を実施し，以下のことを行った。

1) 医療技術評価

(1) 平成 30 年度診療報酬改定用医療技術評価提案書について

- a. 前期の本委員会が作成し，平成 29 年 8 月 3 日に「磁性アタッチメントを用いた義歯の支台装置」，「臼歯単独冠へのシリコンゴム印象材を用いた咬合印象法」，「口腔内スキャナーによる光学印象法」に対して，志賀前委員長，田中委員長，鈴木委員の 3 人が医療技術提案書に対する厚労省のヒアリングを受けた。
- b. ハイブリッドレジンでの CAD/CAM 冠の適応症の拡大に伴い，診療指針と説明用スライドを学会ホームページに更新した。
- c. 平成 30 年度診療報酬改定で保険導入された医療技術の中で，前期の本委員会が関わった技術について指針の作成の有無を検討し，「大白歯

CAD/CAM冠」,「有床義歯咀嚼機能検査」,「口腔内装置1・2・3」,「有床義歯内面適合法(軟質材料)」に関する診療指針および説明用スライドの作成を行い,ホームページに掲載した。

なお,「口腔内装置1・2・3」は山口泰彦先生,「大白歯CAD/CAM冠」は田中委員長,「有床義歯咀嚼機能検査」と有床義歯内面適合法(軟質材料)」については,志賀オブザーバーが作成した。

- d. 学会ホームページに保険収載された技術の診療指針や技術の説明が掲載されていることを周知するため,第127回日本補綴歯科学会学術大会内で会員向けに案内するスライドを作成した。
- (2) 先進医療の保険導入について
 - a. 先進医療「金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療」が平成30年度診療報酬改定にて保険導入されたため,五味副委員長が「高強度コンポジット(硬質)レジンブリッジ」の診療指針および説明用スライドの作成を行った。
- (3) 平成32年度診療報酬改定用医療技術評価提案書について
 - a. 平成32年度診療報酬改定用医療技術評価提案書作成にあたり,今後取り上げる必要のある医療技術について検討を行った。
 - b. 口腔内スキャナーの追加技術に関して竹内委員が検討することとした。
- (4) 新規保険収載技術解説について
 - a. 平成30年度保険収載された「高強度コンポジット(硬質)レジンブリッジ」,「大白歯CAD/CAM冠」,「有床義歯咀嚼機能検査」,「口腔内装置1・2・3」,「有床義歯内面適合法(軟質材料)」内容に関して,社会連携委員会からの依頼により,補綴学会各支部の生涯学習公開セミナーにて当委員会委員が統一したスライドで診療指針,技術の説明,解説を行うことになった。

2) 厚生労働省からの照会事項

- (1) ブリッジの支台歯として乳歯や移植歯の適用,遊離端ブリッジの設計に関する照会事項に対して,回答書を提出した。乳歯や移植歯の適用に関しては,「原則的にはブリッジの支台歯と認めない,しかしながら,動揺が生理的範囲内であり,歯根吸収が認められない場合に適用が可能と考える。ただし,咬合支持能や歯冠高径が不足な場合は適応できない。」とした。遊離端ブリッジの設計に関しては,「延長ブリッジは

原則的には好ましくない方法である,と「ブリッジの考え方2007」に記載されている。しかしながら,個別具体例によっては検討する必要がある。」と具体例を示し,回答した。

- 3) 歯学系学会社会保険委員会連合(歯保連)への参加
 - (1) 山森オブザーバーを推薦した。
- 4) 日本歯科医師会保険適用検討委員会委員について
 - (1) 鈴木委員(有床義歯)と田中委員長(クラウンブリッジ)を推薦した。
- 5) 医療問題関連
 - (1) 今後取り上げる必要のある医療問題について検討を継続することとした。
 - (2) 補綴関連技術のスクラップについて,竹内委員が前期委員会から引き続き実態を調査,検討することとした。

VII. 診療ガイドライン委員会

1. 委員会構成

委員長：小野高裕

副委員長：會田英紀

委員：飯沼利光,尾澤昌悟,中島純子,松田謙一,
水口 一

幹事：長谷川陽子

2. 活動状況

- 1) 平成29年度第1回診療ガイドライン委員会 平成29年10月19日(木)
- 2) 平成29年度第2回診療ガイドライン委員会 平成29年12月11日(月)
- 3) 平成29年度第3回診療ガイドライン委員会 平成30年3月8日(木)
- 4) 平成30年度第1回診療ガイドライン委員会 平成30年5月15日(火)
- 5) 平成30年度第1回睡眠時ブラキシズム(治療編)システムティックレビュー会議 平成30年5月15日(火)

3. 活動内容

- 1) 「補綴歯科治療過程における感染対策指針」(http://www.hotetsu.com/s/doc/infection_measure.pdf)の改訂作業

本指針について,2007年以降改訂がなされていないため,ユニットおよびタービンヘッドの消毒,光学印象用スキャナーの滅菌・消毒など,

大学と一般歯科とに受け入れられる感染対策が呈示できるよう改訂作業を進めている。草案を当委員会で集約した後、学術委員会で本感染指針に対する意見を集約してもらい、外部の専門家に査読を依頼する予定である。

- 2) 「リラインとリベースのガイドライン」 (http://www.hotetsu.com/s/doc/reline_rebase_guideline.pdf) の改訂作業

本ガイドラインについて、2007年以降改訂がなされていなかったため、Minds 掲載を目指した改訂作業を進めている。特に、軟性裏装材によるリラインを盛り込んだガイドラインとなるよう、クリニカルクエスチョン (CQ) の選定を行い、文献検索を専門機関 (図書館協会) に依頼する予定である。

- 3) 「ブラキシズムの診療ガイドライン」治療編の作成

Minds に掲載された「ブラキシズムの診療ガイドライン 睡眠時ブラキシズム患者に対する各種の検査について」 (http://hotetsu.com/s/doc/sb_guideline2016.pdf) に引き続き、治療編の策定を目指してシステマティックレビューチームを結成し、会議を実施した。CQ は決定済みで文献検索も終了しているため、年内にはエビデンステーブル作成を終了する予定で作業を進めている。

- 4) 「摂食・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床 (PAP) の診療ガイドライン」 (<http://hotetsu.com/j/doc/pap.pdf>) の改訂作業

Minds 掲載された現行のガイドラインから7年が経過しているので、Minds 掲載を目指した改訂作業を進めている。以前の CQ を Minds2014 仕様に設定し直し、年度内に外部評価に提出することを目標に作業を調整した。

- 5) ガイドラインワークショップ等への参加

- (1) Minds 第16回 診療ガイドライン作成ワークショップ (2017年12月10日: 中島委員)
- (2) 日本歯科医学会第5回診療ガイドライン作成講習会 (2018年3月3日: 水口委員)

VIII. 教育問題検討委員会

1. 委員会構成

委員長: 澤瀬 隆

副委員長: 築山 能大

委員: 河野文昭, 古屋純一, 山下秀一郎,
権田知也

幹事: 黒嶋伸一郎

2. 活動状況

活動の目的

卒前卒後の補綴学教育のあり方に関する基準を明確に示し、専門医へのキャリアパスを明確に示すことができるように、また一般的な補綴医療の水準を少しでも高められるようにすることを目的として活動しており、平成29年度7-3月期および平成30年度4-6月期では、平成29年度の第2, 3回目の会議を公益社団法人日本補綴歯科学会会議室にて行い、平成30年度第1回目の会議は、6月4日に同会議室で開催予定である。なお、必要案件についてはメール会議を行い、資料や意見収集を行い協議している。

- 1) 歯科補綴に関する国内外の教育システムの現状把握

(1) 以下の資料を使用して協議を行った。

- ・歯科補綴学教育基準改訂版2006
- ・平成30年版国家試験出題基準
- ・平成28年度改訂版歯学教育コアカリキュラム
- ・Accreditation Standards for Advanced Specialty Education Programs in Prosthodontics (CODA) の教育システムに関わる全訳

(2) 鹿児島大学の田口則宏教授を平成29年度第3回教育問題検討委員会に招聘し、アウトカム基盤型/コンピテンシーベースの教育プログラムに関しての情報提供を受けた。

(3) 田口則宏教授より、小児科医の到達目標—小児科専門医の教育目標—の資料提供を受け、医学領域における専門医の教育目標についての情報提供を受けた。

上記より、現在、歯科補綴学教育基準の改定を行い、その原案を作製した。なお、新たな教育基準は学修者の視点に立ったアウトカム基盤型/コンピテンシーベースの教育基準とし、また平成28年度版歯学教育モデルコアカリキュラムに準拠し、これまでの歯科補綴領域に加え、高齢者への補綴治療、摂食嚥下治療の内容も包含することとした。今後は専門医制度を鑑み、またパブコメを求めた上で、歯科補綴学教育基準の作成を目指す。

IX. 専門医制度委員会

1. 委員会構成

委員長：河相安彦

副委員長：村田比呂司

委員：魚島勝美，中本哲自，藤原 周，松山美和，
若林則幸，北川 昇，小泉寛恭

幹事：大久保昌和

2. 活動状況

- 1) 平成 29 年度第 1 回専門医制度委員会 平成 29 年
5 月 9 日 (火) メール会議 (鱒見前委員長)
- 2) 平成 29 年度第 2 回専門医制度委員会 平成 29 年
5 月 30 日 (火) メール会議 (鱒見前委員長)
- 3) 平成 29 年度第 3 回専門医制度委員会 平成 29 年
6 月 12 日 (月) 事務局会議室 (鱒見前委員長)
- 4) 平成 29 年度第 4 回専門医制度委員会 平成 29 年
7 月 27 日 (木) ～7 月 29 日 (土) メール会議
- 5) 平成 29 年度第 5 回専門医制度委員会 平成 29 年
8 月 15 日 (火) ～8 月 17 日 (木) メール会議
- 6) 平成 29 年度第 6 回専門医制度委員会 平成 29 年
8 月 23 日 (水) ～8 月 30 日 (水) メール会議
- 7) 平成 29 年度第 7 回専門医制度委員会 平成 29 年
9 月 2 日 (土) ～9 月 6 日 (水) メール会議
- 8) 平成 29 年度第 8 回専門医制度委員会 平成 29 年
9 月 19 日 (火) 事務局会議室
- 9) 平成 29 年度第 9 回専門医制度委員会 平成 29 年
9 月 21 日 (木) ～9 月 25 日 (月) メール会議
- 10) 平成 29 年度第 10 回専門医制度委員会 平成 29
年 10 月 13 日 (金) ～10 月 16 日 (月) メール
会議
- 11) 平成 29 年度第 11 回専門医制度委員会 平成 29
年 10 月 31 日 (火) メール会議
- 12) 平成 29 年度第 12 回専門医制度委員会 平成 29
年 11 月 13 日 (月) ～11 月 23 日 (木) メール
会議
- 13) 平成 29 年度第 13 回専門医制度委員会 平成 29
年 11 月 20, 21 日 (月, 火) メール会議
- 14) 平成 29 年度第 14 回専門医制度委員会 平成 29
年 12 月 16 日 (土) AP 大阪駅前梅田一丁目会議
室
- 15) 平成 29 年度第 15 回専門医制度委員会 平成 30
年 1 月 31 日 (水) 八重洲倶楽部
- 16) 平成 29 年度第 16 回専門医制度委員会 平成 30
年 2 月 26 日 (月) ～3 月 2 日 (金) メール会議

- 17) 平成 29 年度第 17 回専門医制度委員会 平成 30
年 3 月 15 日 (木) ～26 日 (月) メール会議
- 18) 平成 30 年度第 1 回専門医制度委員会 平成 30 年
4 月 24 日 (火) ～25 日 (水) メール会議
- 19) 平成 30 年度第 2 回専門医制度委員会 平成 30 年
5 月 28 日 (月) ～6 月 2 日 (土) メール会議

3. 活動内容

- 1) 平成 29 年度公益社団法人日本補綴歯科学会第 3
回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ'17」開催
テーマ：「デジタル化による補綴治療の新しい潮流」
大会長：末瀬一彦
会期：平成 29 年 12 月 17 日 (日)
会場：大阪国際会議場
会費：無料
シンポジウム 1「クラウンブリッジにおけるデジタル
デンティストリーの活用」
座長：講演①②：河相安彦 (日大松戸)，
若手会員講演：田中昌博 (大歯大)
講演①「デジタルデンティストリーにおけるマテリ
アル選択」
講師：伴 清治 (愛院大)
講演②「どう選ぶ，チェアサイド型 CAD/CAM と
ネットワーク型 CAD/CAM」
講師：小池軍平 (横須賀市開業)
若手会員講演①「デジタルデータの補正に対する考
察と臨床」
講師：新谷明一 (日歯大)
若手会員講演②「下顎運動を咬合面形態に反映した
CAD/CAM クラウン製作」
講師：田邊憲昌 (岩手医大)
若手会員講演③「クラウンブリッジ補綴における医
用画像工学技術と CAD/CAM 技術の融合」
講師：井川知子 (鶴見大)
若手会員講演④「口腔内スキャナーとジルコニア材
料の最前線」
講師：上村江美 (昭和大)
シンポジウム 2「インプラント治療におけるデジ
タルデンティストリーの活用」
座長：講演③④：馬場一美 (昭和大)，
若手会員講演：矢谷博文 (大阪大)
講演③「インプラント治療におけるデジタルデン
ティストリーの有効性」
講師：正木千尋 (九歯大)
招待講演④「BUDDING DIGITAL IMPLANT DEN
TISTRY」

- 講師：千葉豊和先生（札幌市開業）
若手会員講演⑤「デジタルを用いたアウトカム評価から考える前歯部インプラント治療」
講師：中野 環（大阪大）
若手会員講演⑥「STLとDICOMの融合によるインプラント治療のフルデジタル化」
講師：丸尾勝一郎（神歯大）
若手会員講演⑦「デジタル化によるインプラント治療の現状と展望」
講師：今 一裕（医歯大）
若手会員講演⑧「日常診療となったデジタルデンティストリー in インプラント」
講師：横山紗和子（東京都開業）
- 2) 専門医多肢選択試験の実施（126回学術大会時）
平成29年6月30日（金）に日石横浜ビルにて専門医多肢選択試験を開催した。
- 3) 126回学術大会における専門医研修単位認定セミナーの開催
- (1) 臨床リレーセッション1（専門医研修単位認定セミナー）平成29年7月1日（土）
テーマ：『咬合支持に起因する難症例への補綴学的アプローチ：Eichnerの分類に応じた補綴介入』
座長：大川周治（明海大），築山能大（九州大）
講師：兒玉直紀（岡山大），
荻野洋一郎（九州大），松田謙一（大阪大）
- (2) 専門医研修会平成29年7月2日（日）
テーマ：『デジタル技術を用いた歯冠修復の現状と未来』
座長：鱒見進一（九歯大），小川 匠（鶴見大）
講師：佐藤博信（福歯大），
近藤尚知（岩手医大），小川 匠（鶴見大）
- 4) 支部における専門医研修会の開催
- (1) 東北・北海道支部専門医研修会
日時：平成29年10月28日（土）
テーマ：『デジタル・歯冠修復材料 update』
座長：近藤尚知（岩手医大）
講師：峯 篤史（大阪大），
疋田一洋（北医大），馬場一美（昭和大）
- (2) 関越支部専門医研修会
日時：平成30年1月20日（土）
テーマ：『在宅歯科医療における補綴治療の実際』
座長：小出 馨（日歯大新潟）
講師：白野美和（日歯大），
柏瀬昌史（柏瀬歯科医院栃木県歯科医師会理事）
- (3) 東関東支部専門医研修会
日時：平成30年2月24日（土）
テーマ：『補綴治療の症型分類を理解する』
a. 「補綴歯科は何を判断し、治療を進めているのか：症型分類、そしてSPMへ」
b. 「なぜ、補綴歯科専門医制度が必要か？—全人的補綴歯科治療と症型分類—」
座長：藤澤政紀（明海大）
講師：市川哲雄（徳島大），窪木拓男（岡山大）
- (4) 東京支部専門医研修会
日時：平成29年12月3日（日）
テーマ①：『インプラントオーバーデンチャーに必要なパーシャルデンチャーの基本』
テーマ②：『生体にやさしいチタン合金開発と加工技術の最前線』
座長：山下秀一郎（東歯大）
講師：藤関雅嗣（東歯大），服部雅之（東歯大）
- (5) 西関東支部専門医研修会
日時：平成30年1月13日（土）
テーマ：『補綴装置の耐久性向上を目指して』
座長：井野 智（神歯大）
講師：二瓶智太郎（神歯大），
二階堂 徹（医歯大）
- (6) 東海支部専門医研修会
日時：平成29年10月28日（土）
テーマ『無歯顎補綴治療の基本：臨床に役立つ全部床義歯のポイント』
座長：都尾元宣（朝日大）
講師：黒岩昭弘（松歯大）藤原 周（朝日大）
- (7) 関西支部専門医研修会
日時：平成30年3月11日（日）
テーマ：『術後管理から考えるインプラント治療』
座長：矢谷博文（大阪大）
講師：関根秀志（奥羽大）萩原芳幸（日本大）
- (8) 中国・四国支部専門医研修会
日時：平成29年8月27日（日）12:20～13:40
テーマ：『CAD/CAM補綴の現況と展望』
座長：二川浩樹（広島大）
講師：疋田一洋（北医大）峯 篤史（大阪大）
- (9) 九州支部専門医研修会
日時：平成30年3月4日（日）
テーマ：『顎運動の再現と義歯の調整を咀嚼へ生かす』
座長：南 弘之（鹿児島大）

講師：鱒見進一（九歯大）、皆木省吾（岡山大）

5) その他

- ・専門医多肢選択試験の準備（127回学術大会時）
 - ・127回学術大会における専門医研修単位認定セミナーの開催準備
 - ・平成30年度公益社団法人日本補綴歯科学会第4回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ'18」開催準備
 - ・平成30年度各支部における専門医研修会の開催承認
- 中国四国支部 平成30年9月2日（日）
九州支部 平成30年8月26日（日）

X. 専門医認定委員会

1. 委員会構成

委員長：高橋 裕

副委員長：小川 匠

委員：金村清孝，黒川裕臣，木本 統，笹木賢治，
井野 智，新村弘子，石垣尚一，大倉一夫，
細川隆司

幹事：川口智弘

2. 活動状況

1) 専門医認定委員会の開催

- (1) 平成29年7月14日～19日 平成29年度専門医認定委員会（第1回メール会議）
- (2) 平成29年10月23日 平成29年度第2回専門医認定委員会
- (3) 平成29年11月10日～15日 平成29年度専門医認定委員会（第2回メール会議）
- (4) 平成29年12月12日～18日 平成29年度専門医認定委員会（第3回メール会議）
- (5) 平成30年4月25日 平成30年度第1回専門医認定委員会

2) 学会ホームページの専門医関係の申請・更新書類ダウンロードファイルの変更

3) 専門医申請ケースプレゼンテーション：計42題

- (1) 第126回学術大会 6題
- (2) 第127回学術大会 8題
- (3) 東北・北海道支部学術大会 3題
- (4) 西関東支部学術大会 0題
- (5) 東京支部学術大会 2題
- (6) 東関東支部学術大会 6題
- (7) 関越支部学術大会 3題
- (8) 東海支部学術大会 7題
- (9) 関西支部学術大会 2題

(10) 中国四国支部学術大会 3題

(11) 九州支部学術大会 0題

4) 新規専門医，指導医，終身指導医，認定研修機関の認定

新規専門医32名，新規指導医24名，新規終身指導医40名，新規認定研修機関（乙）4機関を認定した。

5) 専門医，指導医，認定研修機関の更新

専門医357名，認定研修機関（甲）10機関，認定研修機関（乙）2機関の更新を認定した。

6) 専門医症例報告査読

37編（平成30年5月18日現在）の症例報告論文を査読した。尚，ケースプレゼンテーションにおける2名の審査委員が査読を担当する査読者2名体制での査読方法を継続している。

XI. 社会連携委員会

1. 委員会構成

委員長：山口泰彦

副委員長：関根秀志

委員：島田 淳，坪田有史，吉岡 文

幹事：谷内田 渉，齋藤 彰

2. 活動状況

委員会はメール会議により16回行った。各支部の市民フォーラムおよび生涯学習公開セミナー，及び第127回学術大会における市民フォーラムのテーマ，座長，講師の選定に関する協議を行った。また，平成30年度の生涯学習公開セミナーの共通テーマの検討を行い，「補綴歯科関係新規保険収載医療技術の解説」として，平成30年4月の保険改定により新規導入された補綴歯科関係の医療技術に関し学会として解説を行うこととした。また，市民フォーラムおよび生涯学習公開セミナーの活動実態に即し，会員が理解しやすいように「公益社団法人日本補綴歯科学会規程集」における「生涯学習公開セミナー開催に関する申し合わせ」および「市民フォーラム開催に関する申し合わせ」の一部改正を行った。

市民フォーラム，生涯学習公開セミナー以外の活動企画としては，一般市民向けの補綴歯科解説用単行書の出版，ホームページ掲載用臨床術式教育コンテンツの作成，補綴リーフレット「補綴歯科ってなに？」の一部改訂を行う方針とし，内容の検討を行った。これらの企画については，今期中の完成を目指して活動中である。

平成 29 年度の実施事業は以下のとおりである。

1) 生涯学習公開セミナーの開催

東北・北海道支部

- (1) 日時：平成 29 年 10 月 29 日 (日)
- (2) 会場：星稜オーデトリウム
- (3) テーマ：補綴主導型インプラント治療 update
- (4) 座長：佐々木啓一 (東北大)
- (5) 講師：関根秀志 (奥羽大)

関越支部

- (1) 日時：平成 29 年 11 月 12 日 (日)
- (2) 会場：新潟県歯科医師会館 講堂
- (3) テーマ：咬合が及ぼす影響
- (4) 座長：水橋 史 (日歯大新潟)
座長：佐藤利英 (日歯大新潟)
- (5) 講師：藤澤政紀 (明海大)
講師：池上龍朗 (福岡県)

東関東支部

- (1) 日時：平成 30 年 2 月 25 日 (日)
- (2) 会場：浦和ロイヤルパインズホテル
- (3) テーマ：在宅医療における口腔機能管理のあり方
- (4) 座長：大川周治 (明海大)
- (5) 講師：飯沼利光 (日本大)
講師：大岡貴史 (明海大)

東京支部

- (1) 日時：平成 29 年 12 月 2 日 (土)
- (2) 会場：東京歯科大学水道橋校舎 本館 13F
- (3) テーマ：ワンランク上の接着 われない、はずれない CAD/CAM レジン冠, オールセラミック冠
- (4) 座長：佐藤 亨 (東歯大)
- (5) 講師：富士谷盛興 (愛院大)

西関東支部

- (1) 日時：平成 30 年 1 月 14 日 (日)
- (2) 会場：神奈川歯科大学付属新病院 12F 講堂
- (3) テーマ：義歯内面には、柔らかい材料が良いのか？—軟質リライン材の正しい使い方—
- (4) 座長：大久保力廣 (鶴見大)
- (5) 講師：村田比呂司 (長崎大)
講師：木本 統 (日大松戸)

東海支部

- (1) 日時：平成 29 年 10 月 29 日 (日)
- (2) 会場：愛知学院大学楠元学舎
- (3) テーマ：顎間関係の設定の基本：診察・検査から診断まで
- (4) 座長：中本哲自 (松歯大)

- (5) 講師：山下秀一郎 (東歯大)

講師：山本司将 (東海支部)

関西支部

- (1) 日時：平成 30 年 1 月 21 日 (日)
- (2) 会場：京都府歯科医師会館
- (3) テーマ：ブラキシズム—今分かっていることとその対応法—
- (4) 座長：矢谷博文 (大阪大)
- (5) 講師：加藤隆史 (大阪大)
講師：藤澤政紀 (明海大)
講師：山口泰彦 (北海道大)

中国・四国支部

- (1) 日時：平成 29 年 8 月 27 日 (日)
- (2) 会場：山口県歯科医師会館
- (3) テーマ：包括歯科診療における補綴処置の位置付け
- (4) 座長：河野文昭 (徳島大)
- (5) 講師：小川廣明 (山口県)
講師：石田秀幸 (広島県)

九州支部

- (1) 日時：平成 29 年 8 月 27 日 (日)
- (2) 会場：鹿児島大学 稲盛会館
- (3) テーマ：歯科の装置を再考する
- (4) 座長：鱒見進一 (九歯大)
- (5) 講師：大野友久 (国立長寿医療研究センター)
講師：村上 格 (鹿児島大)

2) 市民フォーラムの開催

東北・北海道支部

- (1) 日時：平成 29 年 10 月 28 日 (土)
- (2) 会場：星稜オーデトリウム
- (3) テーマ：よく寝、よく食べ健康長寿
- (4) 座長：横山敦郎 (北海道大)
- (5) 講師：小川 徹 (東北大)
講師：服部佳功 (東北大)

関越支部

- (1) 日時：平成 30 年 1 月 20 日 (土)
- (2) 会場：栃木県歯科医師会館
- (3) テーマ：歯と健康
- (4) 座長：黒川裕臣 (日歯大新潟)
- (5) 講師：嶋 均三 (非会員)
講師：上田一彦 (日歯大新潟)

東関東支部

- (1) 日時：平成 30 年 2 月 25 日 (日)
- (2) 会場：浦和ロイヤルパインズホテル
- (3) テーマ：咀嚼は脳を活性化する
- (4) 座長：小見山 道 (日本大学松戸)

(5) 講師：川良美佐雄（日大松戸）

東京支部

- (1) 日時：平成 29 年 12 月 2 日（土）
- (2) 会場：東京歯科大学本館 13 階 第 1 講義室
- (3) テーマ：美味しく食べて目指せ健康長寿
- (4) 座長：山下秀一郎（東歯大）
- (5) 講師：大平真理子（東歯大）

西関東支部

- (1) 日時：平成 29 年 10 月 28 日（土）
- (2) 会場：神奈川県歯科大学付属横浜研修センター 7 階
- (3) テーマ：お口の健康状態と内科疾患とのかかわり
- (4) 座長：井野 智（神歯大）
- (5) 講師：井野 智（神歯大）
講師：米田正人（横浜市立大）

東海支部

- (1) 日時：平成 29 年 10 月 28 日（土）
- (2) 会場：愛知学院大学楠元学舎
- (3) テーマ：在宅医療における口腔健康管理
- (4) 座長：服部正巳（愛院大）
- (5) 講師：杉本太造（愛院大）
講師：富田健嗣（愛知県歯科医師会）

関西支部

- (1) 日時：平成 29 年 11 月 11 日（土）
- (2) 会場：弁天町 ORC200 生涯学習センター
- (3) テーマ：お口と足の健康いつまでも
- (4) 座長：中村隆志（大阪大）
- (5) 講師：権田知也（大阪大）

中国・四国支部

- (1) 日時：平成 29 年 8 月 26 日（土）
- (2) 会場：山口県歯科医師会
- (3) テーマ：在宅医療における口腔機能管理～食べるを支える
- (4) 座長：小山茂幸（山口県）
- (5) 講師：菊谷 武（日歯大）
講師：津賀一弘（広島大）

九州支部

- (1) 日時：平成 29 年 8 月 27 日（日）
- (2) 会場：鹿児島大学 学習交流プラザ学習交流ホール
- (3) テーマ：健康長寿社会における歯と全身の健康
- (4) 座長：鳥巢哲朗（長崎大）
- (5) 講師：南 弘之（鹿児島大）

日本補綴歯科学会第 126 回学術大会

- (1) 日時：平成 29 年 7 月 1 日（土）
- (2) 会場：クイーンズスクエア横浜
- (3) テーマ：健康長寿の秘訣！－噛み合わせ・咀嚼・栄養の大切さ－
- (4) 座長：松山美和（徳島大）
座長：武部 純（愛院大）
- (5) 講師：津賀一弘（広島大）
講師：菊谷 武（日歯大）

日本補綴歯科学会第 127 回学術大会

- (1) 日時：平成 30 年 6 月 7 日（木）
- (2) 会場：地域医療人育成センターおかもやま（MUSCAT CUBE）
- (3) テーマ：お口の機能の有名研究者が、やさしく解説 ーどうすれば健康に食べて、肺炎にならない？お口と体の健康法ー
- (4) 座長：皆木省吾（岡山大）
- (5) 講師：津賀一弘（広島大）
講師：池邊一典（大阪大）

XII. 国際渉外委員会

1. 委員会構成

委員長：細川隆司

副委員長：小見山 道

委員：有馬太郎, 池邊一典, 隅田由香, 松香芳三,
渡邊郁哉

幹事：近藤祐介

2. 活動状況

1) 各海外学会との交流

- (1) Asian Academy of Prosthodontics (AAP)
 - a. 日本補綴歯科学会より以下のメンバーを選定
President: Dr. Tetsuo Ichikawa
Vice President (President-elect) : Dr. Shuji Ohkawa
AAP Councilor (Country/Regional Representative) : Dr. Ryuji Hosokawa
Immediate Past-President: Dr. Hirohumi Yatani
AAP Past President (2006-2007) Dr. Kiyoshi Koyano
 - b. Council meeting へ参加（細川委員長）
 - c. 11th Biennial Congress of AAP における招待講演者の公募（現在選考中）
 - d. HP, メールマガジンによる本会会員へ学会開

催の周知

- (2) Chinese prosthodontic Society (CPS), Korean Academy of Prosthodontics (KAP)
 - a. Biennial Joint Congress of JPS-CPS-KAP へ招待講演者の派遣 (下記 2) 参照)
 - b. HP, メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知
 - c. Executive meeting (細川委員長) へ参加
 - d. 日本補綴歯科学会学術大会における日中韓国際セッションの開催 (下記 4) 参照)
- (3) Indian Prosthodontic Society (IPS)
 - a. 留学生受け入れ施設に対する事後アンケートの実施
 - b. 46th IPS National Conference 2018 における招待講演者の公募 (現在選考中)
 - c. 留学生受け入れ施設の公募 (現在公募中)
- (4) Pacific Coast Society for Prosthodontics (PCSP)
 - a. 本会学術大会へ招待講演者の招聘 (下記 2) 参照)
- (5) American Prosthodontic Society (APS)
 - a. HP, メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知
- (6) Academy of Prosthodontics (AP)
 - a. HP, メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知
- 2) 海外招待講演者の選定および海外招待講演者の招聘
 - (1) 招待講演者の選定

Biennial Joint Congress of JPS-CPS-KAP :
Dr. Hiroshi Egusa, Dr. Takaharu Goto, Dr. Yusuke Kondo

11th Biennial Congress of AAP : 選考中

46th IPS National Conference 2018 : 選考中
 - (2) 海外講師の招聘

日本補綴歯科学会第 127 回学術大会 (PCSP 国際シンポジウム) へ PCSP より, Dr. David Guichet, Dr. Jacinthe Paquette を招聘
 - 3) 委員会セミナーの開催

日本補綴歯科学会第 127 回学術大会にて, 『海外留学支援セミナー — どうすれば海外の大学, 研究機関で仕事ができるか? —』を開催予定
 - 4) シンポジウムの開催

日本補綴歯科学会第 127 回学術大会にて, 『日中韓国際セッション—アジアにおける補綴治療の最前線—』を開催予定

XIII. 規程検討委員会

1. 委員会構成

委員長：武部 純
副委員長：佐藤 亨
委員：小峰 太, 新谷明一, 高山滋子
幹事：安藤彰浩

2. 活動状況

1) 委員会開催

平成 29 年 8 月 25 日に第 2 回規程検討委員会を本学会会議室にて開催し, 前期委員会からの引き継ぎ事項の確認, 平成 29 年度 7 月までに制定・改正した各規程, 規則, 細則について確認するとともに, 規程集の文言の整合性, および平成 29 年度の活動方針について協議を行った。

各委員会および総務から規程制定, 改正の発議がなされる都度, メール上の委員会を開催した (9 回開催)。

- (1) 第 1 回 (メール会議):平成 29 年 7 月 4 日 (火) ~平成 29 年 7 月 14 日 (金)
- (2) 第 2 回 (公社 日本補綴歯科学会事務局会議室) 平成 29 年 8 月 25 日 (金)
- (3) 第 3 回 (メール会議):平成 29 年 8 月 26 日 (土) ~平成 29 年 9 月 6 日 (水)
- (4) 第 4 回 (メール会議):平成 29 年 9 月 25 日 (月) ~平成 29 年 10 月 10 日 (火)
- (5) 第 5 回 (メール会議):平成 29 年 11 月 8 日 (水) ~平成 29 年 11 月 17 日 (金)
- (6) 第 6 回 (メール会議):平成 30 年 1 月 6 日 (土) ~平成 30 年 1 月 29 日 (月)
- (7) 第 7 回 (メール会議):平成 30 年 1 月 16 日 (火) ~平成 30 年 1 月 23 日 (火)
- (8) 第 8 回 (メール会議):平成 30 年 3 月 5 日 (月) ~平成 30 年 3 月 12 日 (月)
- (9) 第 9 回 (メール会議):平成 30 年 3 月 23 日 (金) ~平成 30 年 3 月 30 日 (金)
- (10) 第 10 回 (メール会議):平成 30 年 5 月 13 日 (日) ~平成 30 年 5 月 19 日 (土)

2) 制定した規程

- (1) [31](#) 特命委員会規程 (平成 29 年 7 月 31 日制定)
- (2) [49](#) 補綴歯科臨床研鑽会プロソ実施要項 (平成 30 年 7 月 31 日制定)

3) 改正した規程, 規則, 細則および申し合わせ

- (1) [4](#) 役員等の会務担当規程 (平成 29 年 7 月 31 日改正)

- (2) 22 専門医制度委員会規程（平成 29 年 7 月 31 日改正）
- (3) 22 専門医制度委員会規程（平成 29 年 12 月 15 日一部改正）
- (4) 25 生涯学習公開セミナー開催に関する申し合わせ（平成 30 年 5 月 25 日改正）
- (5) 26 市民フォーラム開催に関する申し合わせ（平成 30 年 5 月 25 日改正）
- (6) 41 表彰関連経費規則（平成 29 年 6 月 30 日改正）
- (7) 42 運営に係わる顕彰規則（平成 29 年 7 月 31 日改正）
- (8) 44 講演等に係わる謝礼等に関する規則（平成 29 年 7 月 31 日改正）
- (9) 47 専門医制度施行細則（平成 29 年 7 月 31 日改正）
- (10) 49 補綴歯科臨床研鑽会プロソ実施要項（平成 30 年 3 月 26 日一部改正）
- 4) 廃止した規程
該当なし
- 5) 改正した支部規則
- (1) 64 西関東支部（平成 30 年 1 月 14 日改正）
- (2) 65 東海支部（平成 29 年 10 月 29 日改正）
- (3) 67 中国・四国支部（平成 29 年 8 月 26 日改正）
- 6) 今期の主たる改正内容
- (1) 4 役員等の会務担当規程（平成 29 年 7 月 31 日改正）
- 第 9 条 理事長および総務担当理事の下に若干名の幹事を置き、会務の補助をする。
- (2) 22 専門医制度委員会規程（平成 29 年 7 月 31 日改正）
- 第 7 条 第 4 号 プロソの企画
- 第 8 条 第 4 号 プロソの開催
- (3) 25 生涯学習公開セミナー開催に関する申し合わせ（平成 30 年 5 月 25 日改正）
- 第 3 項 生涯学習公開セミナーの講師は 2～3 名を基本とし、講師の内諾をとる前の企画の段階で支部と協議のうえ社会連携委員会が選定する。 本会から派遣可能な講師および講演内容については、各支部に一覧表を配付する。各支部において一覧表から派遣を希望する講師がある場合は、本会事務局にその旨連絡し、社会連携委員会が講師との調整を行う。 原則は講師、座長は本会の役員、補綴歯科専門医（以下「専門医」という。）、会員などを主体とする。ただし、本会の会員では適任者がいない企画や理由がある場合は非会員でも可

とする。

生涯学習公開セミナー開催申請書

第 4 項 ※講師は原則会員であること。

第 5 項 ※座長は原則会員であること。

- (5) 26 市民フォーラム開催に関する申し合わせ
- 第 1 項 申請者は、公益社団法人日本補綴歯科学会（以下「本会」という。） 学術大会と同時期に行う場合は学術大会長（以下「大会長」という。）、支部活動として支部が開催する場合は支部長、社会連携委員会活動として開催する場合は社会連携委員会委員長とする。

第 4 項 主催者と支部長（本会学術大会の場合は大会長）、社会連携委員会が協議の上決定する。市民フォーラムの講師・座長は原則として会員とする。ただし、本会の会員では適任者がいない企画や理由がある場合は協議の上、非会員でも可とする。 座長は市民フォーラム進行に必要な場合に設定する。

第 5 項 市民フォーラム開催（主催のみ）申請書は、開催日 2 か月前までに概要を記載した別紙（様式 1）またはこれに準じたものを、郵便、Fax または e-mail で社会連携委員会委員長宛に送付する。なお、支部長（本会学術大会の場合は大会長）が申請者の場合には、講師の内諾をとる前の企画の段階で社会連携委員会と協議するのが望ましい。

開催申請受諾書は理事長、社会連携委員会委員長連名で申請者に送付する。

市民フォーラム開催申請書

座長 ※座長は原則会員であること。

講師 ※講師は原則会員であること。

- (6) 47 専門医制度施行細則（平成 29 年 7 月 31 日改正）
- 第 2 条 第 1 号 公益社団法人日本補綴歯科学会（以下「本会」という。）学術大会、専門医研修会、プロソ等への出席
- イ 本会学術大会、支部学術大会、専門医研修会およびプロソは、1 回 4 単位、生涯学習公開セミナーは 1 回 2 単位とする。
- ハ 本会学術大会、支部学術大会、専門医研修会、プロソおよび生涯学習公開セミナーで 28 単位以上を必要とする。

第9条 第1号

イ 本会学術大会, 支部学術大会, 専門医研修会および専門医研修会プロソ 4単位

- (9) 49 補綴歯科臨床研鑽会プロソ実施要項 (平成30年3月26日一部改正)

第7条 本会は, 参加者から参加費を徴収できる。参加費はプログラム委員会の承認を得たうえで, 理事会に報告する。

第8条 第2項 大会長は, プロソ収支予算書を財務担当理事に提出し, プロソの3か月前までに財務委員会の承認を得なければならない。

XIV. 用語検討委員会

1. 委員会構成

委員長: 西村正宏

副委員長: 岡崎定司

委員: 木本克彦, 秋葉陽介, 木本 統, 古地美佳

幹事: 村上 格

2. 活動状況

委員会を4回開催し, 以下のことを行った。

1) 歯科補綴学専門用語集第5版への改定作業

- (1) 新規収載すべき用語, 第4版の問題点, 削除すべき用語, 付録の同義語などについて代議員メールおよびメルマガで照会を行った。
- (2) 第4版のデータとThe Glossary of Prosthodontic Terms 8th Edition (GPT-8)との対比を行ったファイルをもとにGTP-9との整合性の確認を行い, コアカリ, 国家試験・共用試験の出題基準, 他学会の用語データも合わせて精査した。
- (3) 理事, 代議員, 補綴誌の査読者など各専門家に新規収載予定用語の執筆依頼と第4版の査読依頼を行い, 具体的改訂内容の精査を開始した。

- 2) 日本歯科医学会『日本歯科医学会学術用語集』改定について, 日本歯科医学会から分科会への依頼に基づいて, 補綴関連用語の『同義語の選定候補用語の選択, 欧文→カタカナ表記』について代議員メールおよびメルマガで照会を行い, 作業を完了した。また, 補綴関連用語についての『掲載用語の選定, 削除, 修正』作業を行った。

XV. 研究企画推進委員会

1. 委員会構成

委員長: 窪木拓男

副委員長: 玉置勝司

委員: 大野 彩, 小川 徹, 菊谷 武, 菅沼岳史,
藤澤政紀, 竜 正大

幹事: 前川賢治

2. 活動状況

1) 委員会開催

- (1) 平成29年度第2回: 平成29年8月23日
- (2) 平成29年度第3回: 平成29年10月30日
学術委員会, 第2特命委員会との合同委員会として開催
- (3) 平成29年度第4回: 平成30年1月29日
- (4) 平成30年度第1回: 平成30年4月16日
- (5) その他: 適宜メール会議を開催

2) 平成29年度群馬県草津町口腔機能調査(地域在住高齢者包括検診「草津につこり検診」)に参加

- (1) 実施日: 平成29年7月3日(月)~7月7日(金)
- (2) 参加者: 矢谷博文, 玉置勝司, 鮎川保則, 権田知也, 前川賢治(以上委員), 小山絵理(岡山大), 梅木賢人(日大松戸), 永島圭吾(日本歯科大)

3) 平成30年度群馬県草津町口腔機能調査(地域在住高齢者包括検診「草津につこり検診」)への参加準備

- (1) 実施日: 平成30年7月2日(月)~7月6日(金)
- (2) 参加予定者: 窪木拓男, 玉置勝司, 小川 徹, 竜 正大, 前川賢治(以上委員), 藤本規仁(日本歯科大)

4) 草津研究の実施

データマネージャーの指名: 竜 正大委員
データ解析後に学会発表, 論文執筆を予定

5) 補綴学会の症型分類のブラッシュアップと使用説明書のアップデート

口腔関連QOLの質問票のショートフォーム化から取り掛かる。既存のOHIP-14Jを用いることを基本方針に改訂を進める

6) 先進医療申請に向けた概要作成

- (1) 睡眠時ブラキシズムの検査, 診断
- (2) デジタルコピーデンチャー

- (3) オベイトポンティックとソケットプリザーベーション
 ション
 (4) ルートサブマージェンス, ブッカルシールド, ポンティックシールド
 を候補とする
 7) 歯科医学会プロジェクト研究費公募用テーマ案1
 件(「AIを用いた運動障害性咀嚼障害の診断」)の
 提出

XVI. 特命委員会1 活動報告

1. 委員会構成

委員長：津賀一弘

副委員長：石垣尚一

委員：飯田 崇, 渡邊 恵

幹事：吉川峰加

2. 活動状況

メール会議を4回開催し, 補綴歯科専門医取得への
 キャリアパスの構築に関する「新設認定医等制度(案)」
 について草案の起案を作成した。

今後も委員会およびメール会議を開催予定である。

XVII. 特命委員会2 活動報告

1. 委員会構成

委員長：服部佳功

委員：池邊一典, 松山美和, 堀 一浩, 横山正起

幹事：山口哲史

2. 活動状況

平成29年7月以降, メール会議にて事業計画や内
 容を審議し, 最優先で実施すべき事業として, 以下の
 2項に取り組んだ。

- 1) 口腔栄養関連サービスに関わるスローガンの募集
 および決定

本学会の会員が補綴治療を通じて高齢者の栄養管
 理に積極的に関与することを学会内外に宣言し, 学
 会員にその自覚を促すとともに, 栄養の充足におけ
 る補綴治療の重要性を広く国民に認識いただくべ
 く, 本学会会員を対象として「補綴治療に基づく栄
 養管理」の普及促進に向けた「スローガン」を公募
 した。

スローガン公募要項, ならびにスローガン公募ポ
 スターを, 学会ウェブサイトならびにJPS メールマ
 ガジンを通じて会員に発信し, 4月26日から5月

31日の期間に募集を行った。

応募総数は27であり, これらより5を選考する
 第1次選考を, 委員会にて実施した。本学術大会会
 期中に, 会参加者の投票による第2次選考を実施し,
 最終日(6月17日)の閉会式に, 選考結果の発表と,
 提案者の表彰を行う。

- 2) 歯科衛生士, 栄養士との連携に基づく栄養充足へ
 の取り組み

地域包括ケアシステムにおいて, 補綴歯科医や歯
 科衛生士が栄養士と連携し, 患者の栄養状態の改善
 や, それを介した健康寿命の延伸に貢献するには,
 制度面のみならず多くの課題が残されている。本委
 員会は, 補綴歯科医の栄養や食品, 調理等に関する
 知識の不足や, 栄養士側の歯科関連の知識の不十分
 が相互の意思疎通を困難にしている現状に鑑み, 補
 綴歯科医をはじめとする歯科医療職種と(管理)栄
 養士の「共通言語」の相互理解を促す書籍の出版を
 企画した。

作成した目次案に基づいて医歯薬出版(株)に出
 版企画を提案するとともに, 日本咀嚼学会に執筆者
 の推薦を依頼した。

委員会では, 目次案を継続して検討中である。

XVIII. JPR 編集委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：松村英雄

副委員長：皆木省吾

委員：熱田 生, 鬼原英道, 二川浩樹

幹事：小峰 太

2. 活動状況

- 1) 会議開催状況

平成29年度

第2回：2017年9月6日(水)13:30～
 15:30

第3回：2017年11月15日(水)14:00～
 16:00

第4回：2018年1月2日(火)電磁的方法
 (メール会議)

第5回：2018年2月21日(水)14:00～
 15:20

平成30年度

第1回：2018年5月23日(水)14:00～
 15:20

- 2) Journal of Prosthodontic Research (JPR) 会務担

当者(Editor-in-Chief, Associate Editor, Reviewer等)の選任

- 3) 投稿原稿に対する可及的早期の採否判定
- 4) 受理された論文の早期公開と迅速な出版
- 5) レイアウト変更等による掲載論文数の増加
- 6) JPR 誌 61 巻 3, 4 号, 62 巻 1, 2 号の発刊および 62 巻 3 号の掲載論文の選定
- 7) 投稿数と審査状況
【2017 年】 投稿数 : 495 編 (Withdrawn : 9 編, Accepted : 61 編, Rejected : 428 本, Rejection rate : 88%)
【2018 年 5 月 19 日 現在】 投稿数 : 159 編 (Withdrawn : 1 編, Accepted : 27 編, Rejected : 116 本, Rejection rate : 81%)
- 8) JPR Best Paper Award 該当論文についての資料収集と所掌委員会への推薦
- 9) エルセビア・ジャパン (株) Elsevier Japan KK への業務委託
(1) JPR の冊子および電子版の編集, 発行, 配送, 広報等
(2) JPR の運営体制へのサポート
- 10) クラリベイト・アナリティクス Clarivate Analytics (Japan) Co., Ltd. への業務委託
(1) JPR プロモーションメールの配信
(2) Web of Science (WoS) における JPR 掲載論文の分析と編集に対する助言
- 11) (株) 杏林舎への業務委託 : JPR 掲載論文の J-STAGE への掲載

XIX. 倫理審査委員会

1. 委員会構成

委員長 : 鱒見進一
副委員長 : 大川周治
委員 : 若林則幸, 篠原光代, 柴崎栄一, 正岡直樹
幹事 : 楨原絵理

2. 活動状況

平成 29 年度 7-3 月期

- 1) 倫理審査の申請が 1 件あったが, 内容に不備があったため申請者に再提出依頼した。
- 2) 臨床研究法の施行に伴い, 本学会の倫理審査のあり方について見直しを検討することとした。

平成 30 年度 4-6 月期

- 1) 本学会で審査する事項について検討し, 倫理審査委員会規程・規則, および各種書類, 審査フロー

について委員会案を作成し, 提出した。

XX. 利益相反委員会

1. 委員会構成

委員長 : 小宮山彌太郎
副委員長 : 小出 馨
委員 : 志賀 博, 馬場一美, 柴崎栄一
幹事 : 横山正起

2. 活動状況

平成 29 年度に開催された理事会, 委員長会において, 利益相反に関する事項について各委員にメールにて連絡を行った。

また, 本委員会は利益相反状態にある本学会会員 (主に開業医, 勤務医) からの質問, 要望への対応を行い, 当該者からの申し出があった時点でその旨を事務局あるいは総務から通知を受けて委員会を開催する。現在まで 1 件の申請があり, メールによる協議の結果, 問題がないことを確認した。

さらに, 第 127 回学術大会における企業発表者の COI 開示の件で, 理事長ならびに総務理事とのメールによる協議の結果, 発表時に口頭で宣言することとした。

XXI. 優秀論文賞推薦委員会

1. 委員会構成

委員長 : 大川周治
委員 : 志賀 博, 大久保力廣, 松村英雄, 馬場一美, 古谷野 潔

2. 活動状況

平成 29 年度優秀論文賞受賞候補者の選考について

平成 29 年 3 月 5 日に委員会を開催した。規程に基づき検討した結果, 学会論文賞候補者 2 件 4 名, 奨励論文賞候補者 2 名, JPR Best Paper Award Review Article 部門候補者 1 件 2 名, JPR Best Paper Award Original Article 部門候補者 1 件 2 名をそれぞれ選考して理事長に推薦し, 平成 29 年度公益社団法人日本補綴歯科学会第 2 回定時理事会 (平成 30 年 3 月 26 日開催) において承認された。

【学会論文賞】

- 1) 笛木賢治 (医歯大) 【筆頭著者, 連絡責任著者】,
若林則幸 (医歯大) 【研究統括者】

「Oral health-related quality of life in patients

with non-metal clasp dentures: a randomised cross-over trial. *Journal of Oral Rehabilitation* 2017 ; 44 : 405-413」

- 2) 隅田由香 (医歯大) 【筆頭著者, 連絡責任著者】, 谷口 尚 (医歯大) 【研究統括者】
「Digitised evaluation of speech intelligibility using vowels in maxillectomy patients. *Journal of Oral Rehabilitation* 2018; 45: 216-221」

【奨励論文賞】

- 1) 松崎麻貴 (九州大)
「A comparison of the peri-implant bone stress generated by the preload with screw tightening between ‘bonded’ and ‘contact’ model. *Computer Methods in Biomechanics and Biomedical Engineering* 2017; 20: 393-402」
- 2) 鈴木啓之 (医歯大)
「The effect of new complete denture fabrication and simplified dietary advice on nutrient intake and masticatory function of edentulous elderly: a randomized-controlled trial. *Clinical Nutrition*, doi: 10.1016 / j. clnu. 2017. 07. 022」

【JPR Best Paper Award Review Article 部門】

- 1) Shariq Najeeb (University of Sheffield) 【筆頭著者】, Muhammad S. Zafar (Taibah University) 【連絡責任著者】
「Applications of polyetheretherketone (PEEK) in oral implantology and prosthodontics. *Journal of Prosthodontic Research* 2016; 60: 12-19」

【JPR Best Paper Award Original Article 部門】

- 1) Maki Hosoki (Tokushima University) 【筆頭著者】, Yoshizo Matsuka (Tokushima University) 【連絡責任著者, 研究統括者】
「Allergic contact dermatitis caused by titanium screws and dental implants. *Journal of Prosthodontic Research* 2016; 60: 213-219」

XXII. 学会賞推薦委員会

1. 委員会構成

委員長：志賀 博

委員：大川周治, 水口俊介, 馬場一美, 大久保力廣, 佐々木啓一

2. 活動状況

平成 29 年度日本補綴歯科学会学会賞推薦委員会を平成 30 年 3 月 6 日に開催し, 資料をもとに審議の結果, 平成 29 年度日本補綴歯科学会特別功労賞には, 石上友彦名誉会員, 祇園白信仁名誉会員, 前田芳信名誉会員の 3 名と, ロート製薬株式会社, グラクソ・スミスクライン・コンシューマ・ヘルスケア・ジャパン株式会社, 株式会社アイキャストの 3 社が, また, 平成 29 年度日本補綴歯科学会学術賞には, 古谷野 潔会員, 矢谷博文会員の 2 名がそれぞれ候補者として全会一致で選出され, 所定の書類を添えて, 理事長に推薦し, 平成 29 年度公益社団法人日本補綴歯科学会第 2 回定時理事会 (平成 30 年 3 月 26 日開催) において承認された。